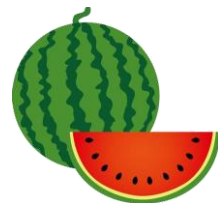


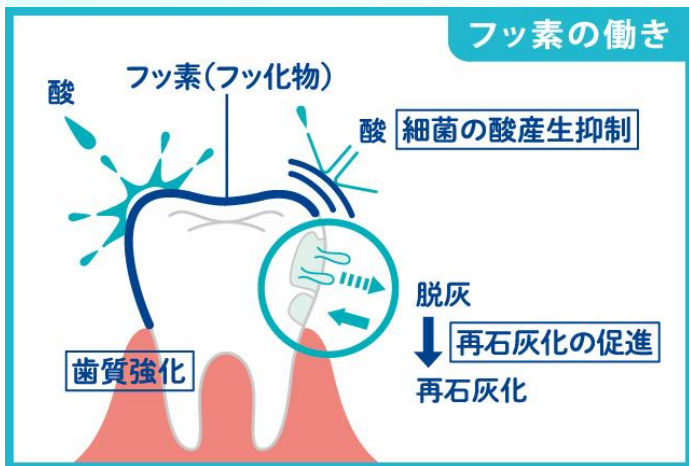


ハッピー通信50号



フッ素はむし歯予防のサポーター！

毎日コツコツが、効果的！



●酸の産生を抑制

歯磨きで落としきれなかった歯垢(プラーク)が作るむし歯の原因菌の働きを弱め、歯垢(プラーク)が作る酸の量を抑えます。

●再石灰化の促進

歯から溶け出したカルシウムやリンの再石灰化を促進させます。

●歯質強化

歯の表面を酸にとけにくい性質に修復します。特に乳歯や生えたての歯は軟らかいので、フッ素配合のハミガキ剤を使い、歯質強化に努めましょう。



暑い夏には要注意！！「酸蝕症」を防ぐには？

汗をかいた後の、炭酸飲料やスポーツドリンクなどの冷たい飲み物は格別ですよ！これから暑くなる夏、これらの飲み物を口にする機会がどんどん増えると思います。

ですが、実はこれらの飲み物を取りすぎると歯が溶けていってしまうんです。

ということで、今回は歯が溶けてしまう「酸蝕症(さんしょくしょう)」にて学んでいきましょう！

①酸蝕症とは？

読んで字のごとく、酸によって歯が溶かされてしまう病気です。歯の表面が浅く溶けてしまい、進行すると、冷たいものがしむる知覚過敏のような症状が出ます。

②う蝕と酸蝕症はどう違う？

う蝕は虫歯菌に感染し、菌が出す酸によって歯が溶かされることによって進行しますが、酸蝕症はその人の食べるものや飲むものに含まれる酸によって進行します。う蝕は歯が黒くなり部分的に穴があいて進行していくのに対し、酸蝕症は全体的に歯が溶かされ薄くなり、黄色くなっていくのが特徴です。

③注意したい食べ物は？

酸蝕症の原因となりうる食べ物には以下のような物があります。

- ・炭酸飲料
- ・スポーツドリンク
- ・ワイン
- ・お酢
- ・レモンやミカンなどの柑橘系果物の果汁
- ・ビタミン剤などの酸性の薬剤



④酸蝕症にならないために

せっかく美容のためにお酢や果物を食べても酸蝕症になってしまつては台無しですよ。

では、そうならない為にはどうしたらよいでしょうか？

まずは、酸蝕症になる食べ物を長くお口の中に入れてたままにしないようにしましょう。

そして、お口に入れた後はたくさんのお水を飲むか、ゆすぐようにしましょう。

また、その後すぐに歯を磨くとエナメル質が酸で柔らかくなっているため削れてしまう可能性があります。食後30分は時間を空けるようにしましょう。



リニューアル スタッフ紹介



4月は入社・退職の季節ですね。

すずき歯科も数名のスタッフの入れ替わりがありました。

そこで心機一転、スタッフ紹介をリニューアルしました♪

今までとガラリと変わったのでチェックしてみてください



送・歓迎会



5/8は佐藤・粕谷の送別会、そして大澤・魁・土門の新人歓迎会を行ないました。

送別会の時はいつも写真がたくさんアルバムとムービーを送ります。毎回とても感動しますよ(ノロ)

佐藤さん、粕谷さん長いあいだお疲れさまでした!

新しい生活も幸せでありますように♡

大澤先生、魁先生、土門さん、これからよろしくお願ひします(*^_^*)

GOOD
BYE!

退職のご挨拶

この度、6月28日をもって退職することになりました。

すずき歯科に入社して12年間
たくさんの方々に出会い、色々な事を経験
し多くのことを学ばせて頂きました。

感謝しております。

今後もすずき歯科クリニックで
学んだことをいかし
また新たな環境で

頑張っていきたいと思ひます。
今までありがとうございました。



歯科衛生士 佐藤あゆみ

7月のイベント 七夕ですね!

七夕。中国から伝わるお話。
彦星と織姫が一年に一度だけ出会う・・・
ロマンチックな日です。

短冊に願ひごとを書いて
飾ろう!

みなさんの願ひをこめた短冊は
神社に奉納する予定です!

